

# 江田島市インフラ整備計画（案）



平成 29 年 8 月

江田島市 土木建築部



## 目 次

1 計画策定にあたって .....	1
(1) 計画策定の背景と目的 .....	1
(2) 計画の位置付け .....	1
(3) 計画期間 .....	2
(4) 計画の対象施設 .....	2
(5) インフラ整備の方策 .....	3
2 インフラの現状と課題 .....	4
(1) 道路の現状と課題 .....	4
(2) 河川の現状と課題 .....	8
(3) 砂防の現状と課題 .....	10
(4) 港湾の現状と課題 .....	13
(5) 漁港の現状と課題 .....	13
(6) 海岸の現状と課題 .....	13
(7) 公園の現状と課題 .....	15
(8) 交通網と通勤・通学者の現状 .....	16
(9) インフラ整備に関する市民の声 .....	17
3 インフラ整備方針 .....	19
(1) 安心・安全な暮らしを支えるインフラ整備 .....	19
(2) 豊かな地域生活を支えるインフラ整備 .....	20
(3) 魅力ある観光を支えるインフラ整備 .....	21
(4) 活発な広域交流を支えるインフラ整備 .....	22
4 インフラ整備の流れ .....	23
(1) 選択と集中に基づく整備 .....	23
(2) 整備費の平準化 .....	24
(3) 整備事業の実施箇所 .....	25
(4) 計画のフォローアップ .....	27



# 1 計画策定にあたって

## (1) 計画策定の背景と目的

江田島市では、平成 16 年 11 月 1 日の合併から、およそ 12 年が経過しましたが、人口減少と少子高齢化は更に進み、産業や雇用などにおいて厳しい状況が続いています。

こうした状況を踏まえ、江田島市の目指す姿や取組などを市民と共有し、ともにまちづくりを推し進めるため、第 2 次江田島市総合計画が平成 27 年 3 月に策定されました。

本計画は、この第 2 次江田島市総合計画に掲げる将来像「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、道路、河川、港湾等のインフラ※の整備・改良等について、4 つの方策を提示し、それらに沿った取組（事業内容やスケジュール等）を示すもので、今後実施される事業計画をわかりやすい形で取りまとめました。

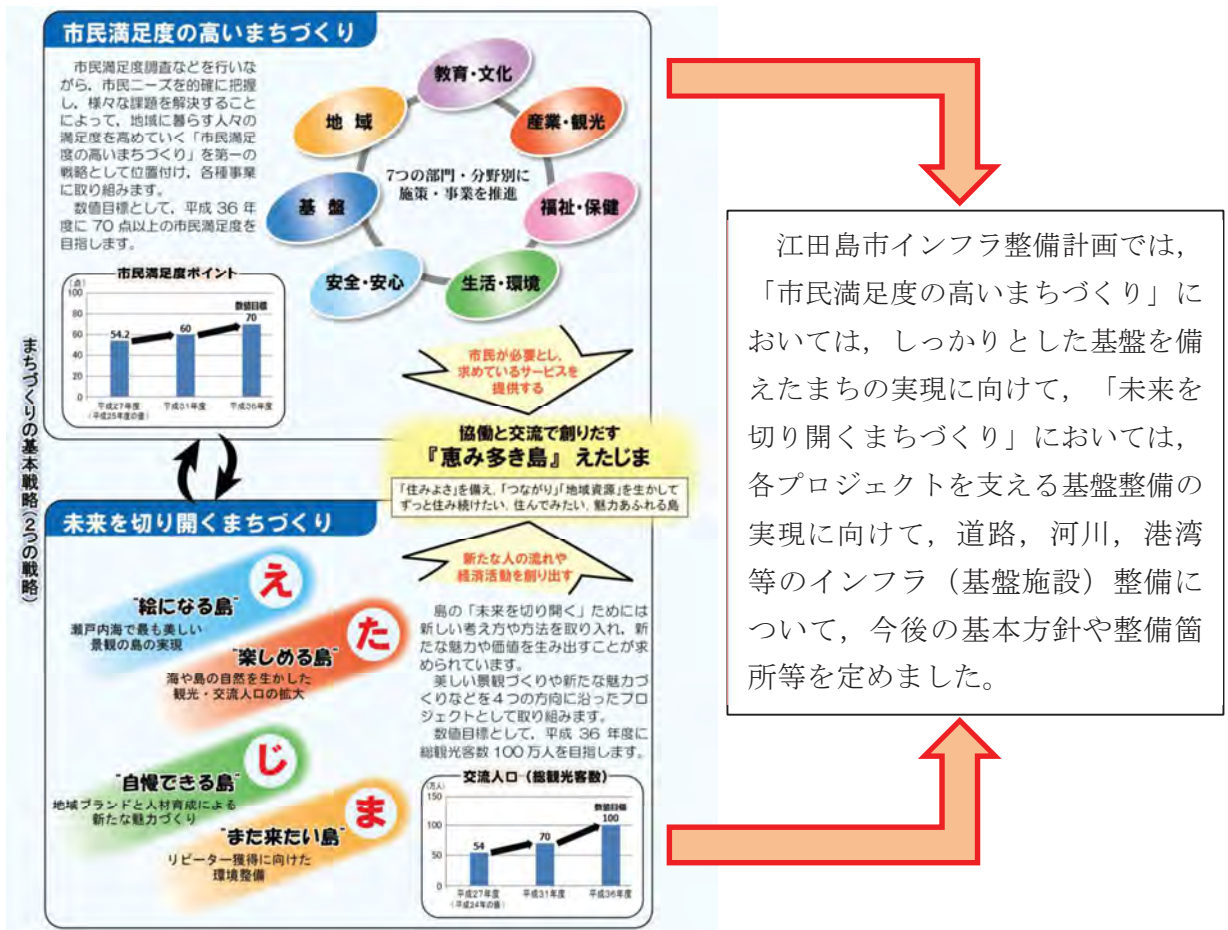
※インフラとは、「産業や生活の基盤」あるいは「社会資本」などを意味する「インフラストラクチャー」の略です。

## (2) 計画の位置付け

第 2 次江田島市総合計画によるまちづくりは、市民ニーズを的確に把握し、様々な課題を解決することによって、地域に暮らす人々の満足度を高めていく「市民満足度の高いまちづくり」と、新しい考え方や方法を取り入れ、島の新たな魅力や価値を生み出していく「未来を切り開くまちづくり」を基本戦略としています。

江田島市インフラ整備計画は、この「まちづくりの基本戦略（2 つの戦略）」を支える道路、河川、港湾等のインフラ（基盤施設）の整備について、今後の基本方針や整備箇所等を定めるものです。

図 1.1 第 2 次江田島市総合計画に示された 2 つの戦略とインフラ整備計画の位置付け

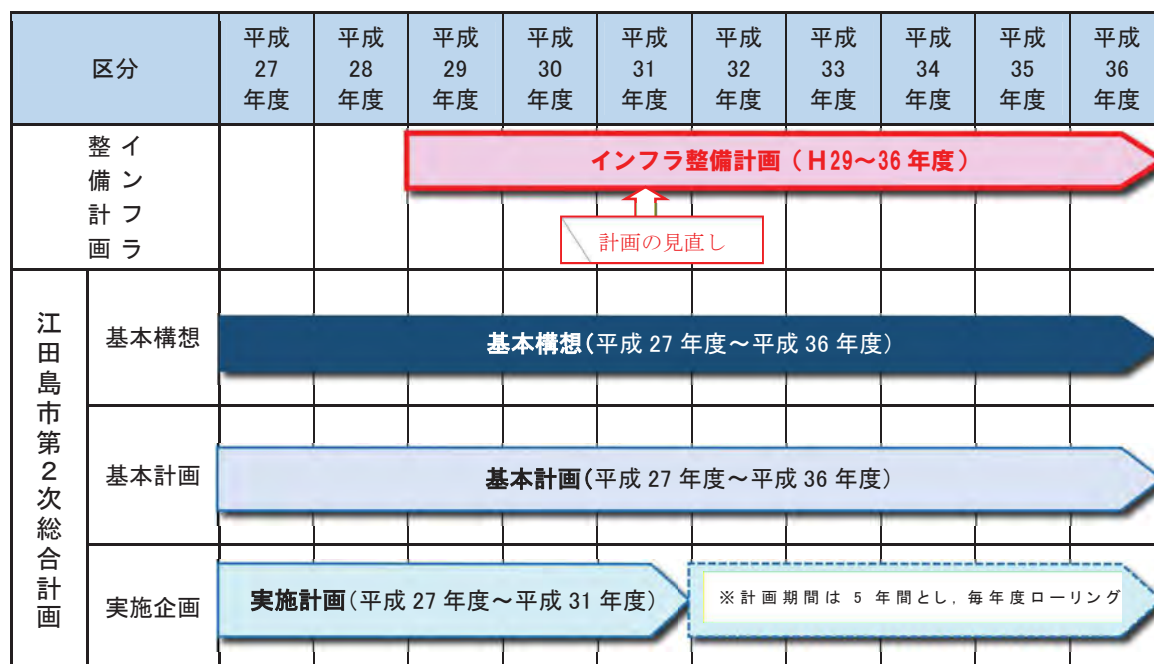


### (3) 計画期間

江田島市インフラ整備計画は、第2次江田島市総合計画を支えるものであり、同計画の計画期間に合わせ、平成29年度から平成36年度までの計画とします。

なお、計画の見直しは、第2次江田島市総合計画の実施計画に合わせ、平成31年度に行います。





図 1.2 インフラ整備計画と計画期間



### (4) 計画の対象施設

本計画では、江田島市土木建築部所管（市営住宅は除く）の基盤施設（道路、河川、砂防、港湾、漁港、海岸、公園）を対象とします。

表 1.1 計画の対象施設

道路	河川	砂防	港湾	漁港	海岸	公園
						
橋梁 トンネル 舗装等	水路 ポンプ場	急傾斜地等	栈橋 防波堤	護岸 防波堤	護岸 防波堤	公園 遊具

### (5) インフラ整備の方策

インフラ整備の方策は、「市民満足度の高いまちづくり」の実現に向けた、市民満足度の向上〔数値目標：54.2（H27）→70（H36）〕に資する2つの方策として、

① 安心・安全な暮らしを支えるインフラ整備

② 豊かな地域生活を支えるインフラ整備

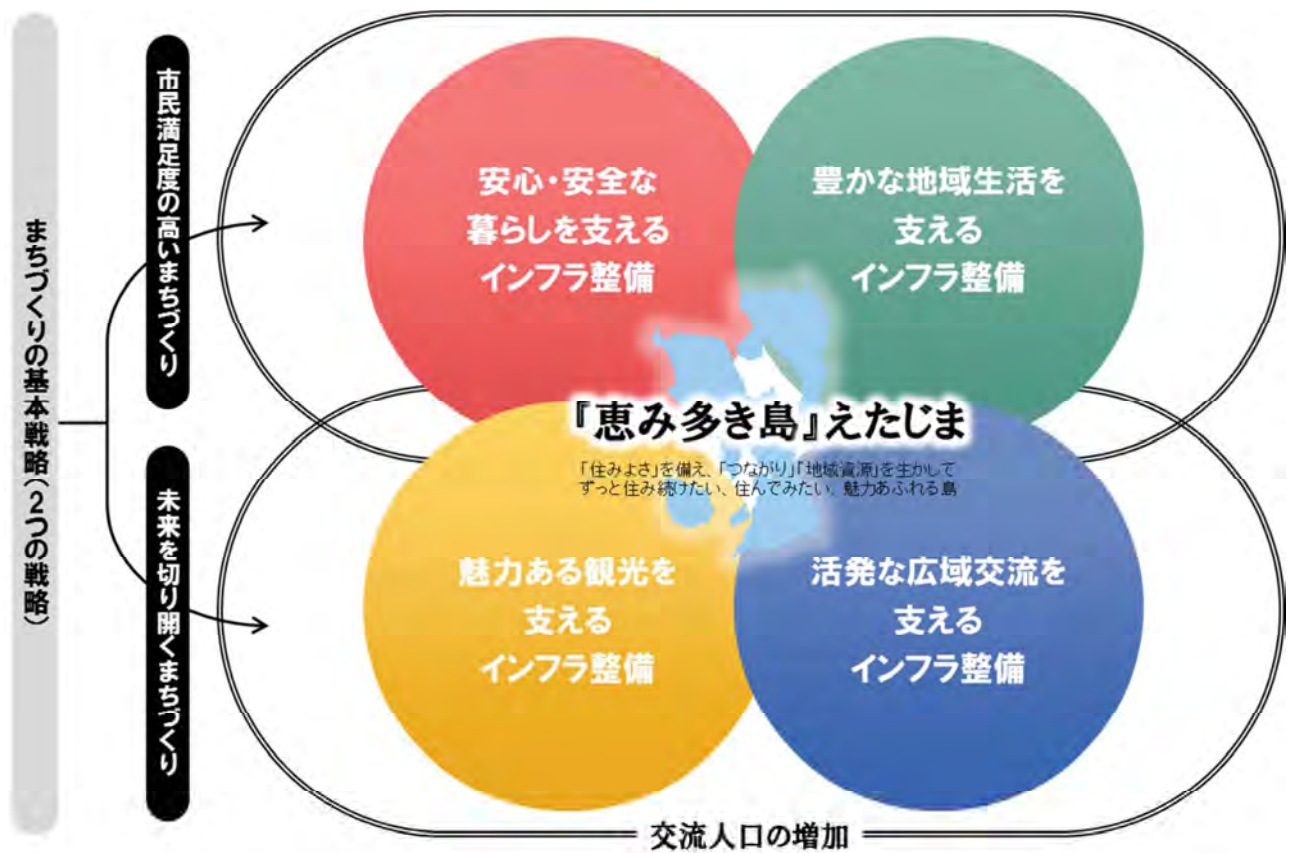
「未来を切り開くまちづくり」の実現に向けた、交流人口の増加〔数値目標：54 万人（H27）→100 万人（H36）〕に資する2つの方策として、

③ 魅力ある観光を支えるインフラ整備

④ 活発な広域交流を支えるインフラ整備

の合わせて4つの方策とします。

図 1.3 インフラ整備の方策



## 2 インフラの現状と課題

### (1) 道路の現状と課題

#### ア 現状

江田島市土木建築部が所管する道路施設は、次のとおりです。

表 2. 1 施設数量（平成28年度末時点）

施設名	数量	単位	備考
橋梁	262	橋	
トンネル	3	本	
舗装	幹線市道	43	km
	その他市道	235	km
道路のり面	59	箇所	調査継続中
道路反射鏡	1,180	本	
里道	約 2,130	km	
里道橋	74	橋	

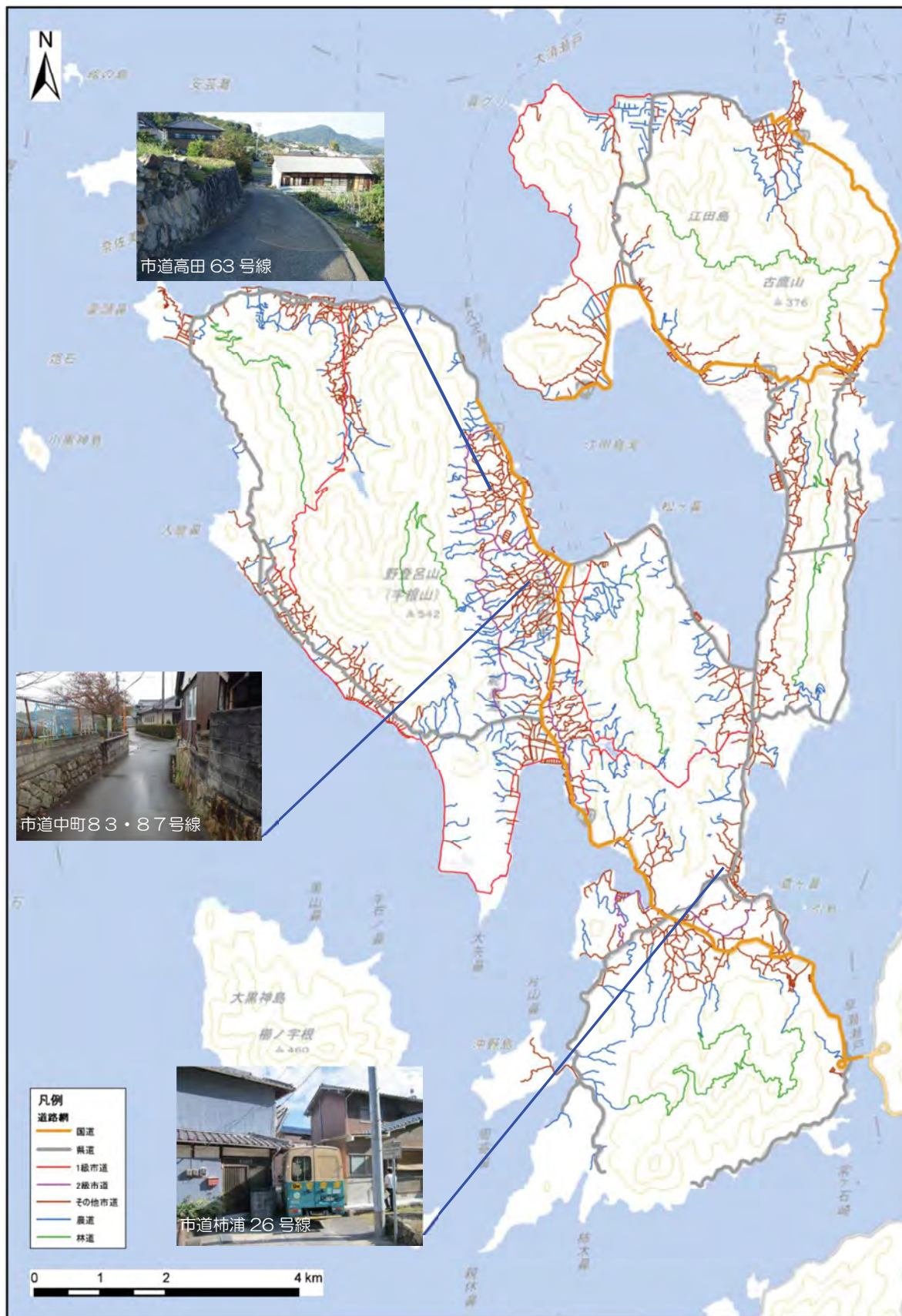
#### イ 課題

道路施設にかかる課題として、次のようなことがあります。

- ・日常生活に密着した市道については、地形的な条件等から狭隘な道路等が多く存在しています。
- ・島嶼部特有の入りくんだ複雑な地形のため、海岸沿いに幹線道路ネットワークが構築されていますが、未改良の区間が多く存在し、広域幹線道路網として速達性、利便性に欠けています。
- ・江田島市通学路安全点検プログラムに基づき、道路改良等を実施しているものの、通学路に幅員狭小区間や歩道未整備区間等が多く存在しています。
- ・江田島市では、近年サイクリング客が多く見受けられ、サイクリングロード整備計画に基づき、サイクリングロードを整備中ですが、未整備箇所も多く、サイクリング客の走行環境の改善が課題になっています。
- ・市民生活や経済活動を支える道路等の基盤施設の多くが高度経済成長期に建設されており、老朽化の進展が懸念されています。



図 2.1 江田島の市道と狭隘箇所



海岸沿いに幹線道路が集中しているが、通学路を含めた生活道路は狭隘な箇所が多く整備が求められている。

図 2.2 サイクリングロード



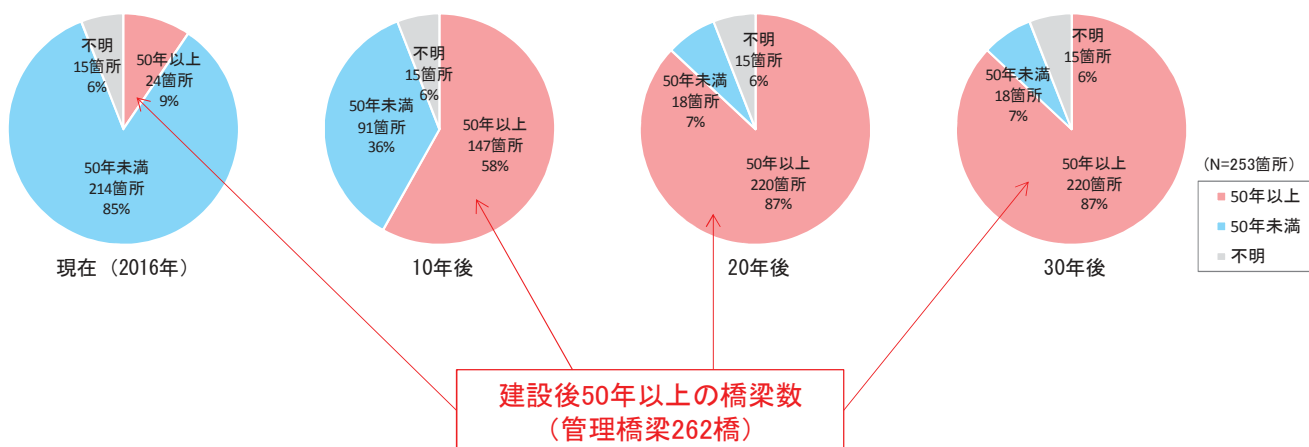
休憩所や案内標識など、環境整備は進めているが、未だ未整備区間が多くサイクリングの走行環境改善が課題となっている。

図 2.3 老朽化の例



多くの橋梁が高度経済成長期に建設されたもので、老朽化が懸念されており、早期の改修工事を必要としている。

図 2.4 江田島市の建設後 50 年以上の橋梁数割合の推移



## (2) 河川の現状と課題

### ア 現状

江田島市土木建築部が所管する河川施設は、次のとおりです。

表 2.2 施設数量（平成28年度末時点）

施設名	数量	単位	備考
準用河川	2.28	km	3 河川
排水機場（ポンプ，調整池）	18	箇所	
水路	約 870	km	

### イ 課題

河川施設にかかる課題として、次のようなことがあります。

- ・江田島市の沿岸部には高潮浸水想定区域があり、これらに対応するため 18 箇所の樋門や排水機場（雨水ポンプ場等）を整備していますが、老朽化の進展が懸念されています。

表 2.3 排水機場・樋門等一覧

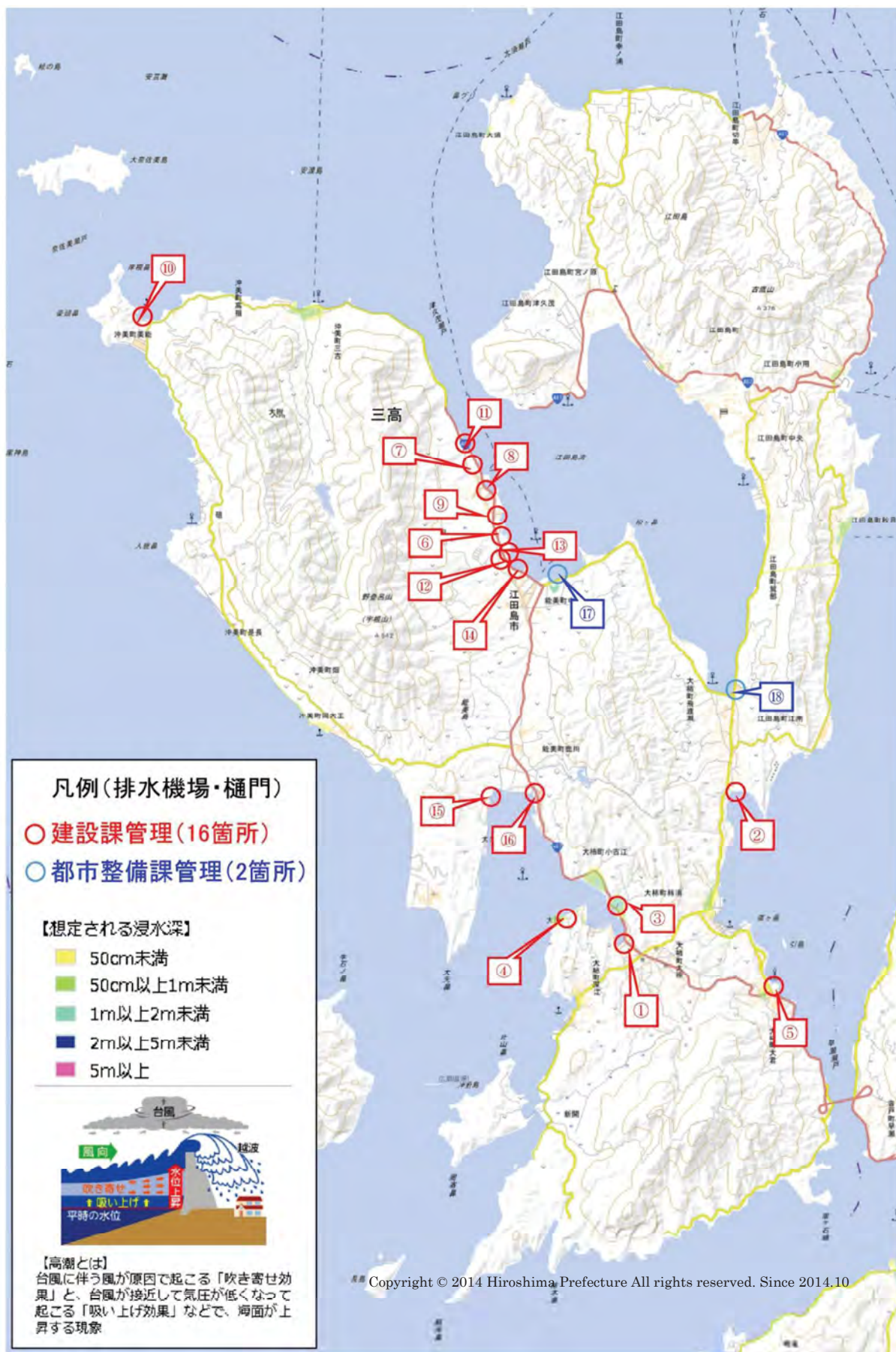
所管	番号	ポンプ場等名称	機能	発電機(稼働条件)
建設課	①	大原ポンプ場	φ 1000mm×4 台，φ 600mm×2 台	発電機有り(停電時自動)
	②	外海ポンプ場	φ 900mm×2 台	発電機有り(停電時自動)
	③	小古江地区水中ポンプ	φ 250mm×1 台	発電機有り(手動)
	④	深江地区水中ポンプ	φ 200mm×2 台	発電機有り(手動)
	⑤	大君地区水中ポンプ	φ 200mm×2 台	—
	⑥	ツバクロ水中ポンプ	φ 200mm×2 台	発電機有り(手動)
	⑦	瀬越樋門ポンプ	φ 250mm×1 台	発電機有り(手動)
	⑧	田中樋門水中ポンプ	φ 250mm×1 台	発電機有り(手動)
	⑨	加藤樋門水中ポンプ	φ 250mm×1 台	発電機有り(手動)
	⑩	美能地区排水機場	φ 400mm×1 台	—
	⑪	伊勢屋樋門	ポンプ無し	—
	⑫	前田樋門	ポンプ無し	—
	⑬	清能樋門	ポンプ無し	—
	⑭	中高田樋門	ポンプ無し	—
	⑮	西浜樋門	ポンプ無し	—
	⑯	松永樋門	ポンプ無し	—
整備課 都市	⑰	中町雨水排水センター	φ 900mm×2 台，φ 400mm×1 台	発電機有り(停電時自動)
	⑱	大新開ポンプ場	φ 1000mm×2 台	発電機有り(停電時自動)

図 2.5 ポンプ場施設の老朽化状況



(ツバクロ樋門：NO2 水中ポンプ) (ツバクロ樋門：水中ポンプ インペラー)

図 2.6 高潮浸水想定図



出典：広島県港湾漁港整備課「高潮浸水想定図」, 『高潮・津波災害ポータルひろしま』

### (3) 砂防の現状と課題

#### ア 現状

江田島市土木建築部が所管する土砂災害防止施設は、次のとおりです。

表 2.4 施設数量（平成28年度末時点）

施設名	数量	単位	備考
急傾斜地崩壊防止施設	23	箇所	調査継続中（県管理を除く）

#### イ 課題

土砂災害防止施設にかかる課題として、次のようなことがあります。

- ・山地が急峻で、急傾斜地や短く狭い河川が多いため、土砂災害危険箇所、警戒区域等が多く存在し、降雨時には土砂崩壊を起こしやすい状況となっています。

表 2.5 土砂災害危険箇所

	土石流危険渓流	急傾斜地崩壊危険箇所	計
江田島町	83	225	308
能美町	51	83	134
沖美町	51	66	117
大柿町	52	144	196
計	237	518	755

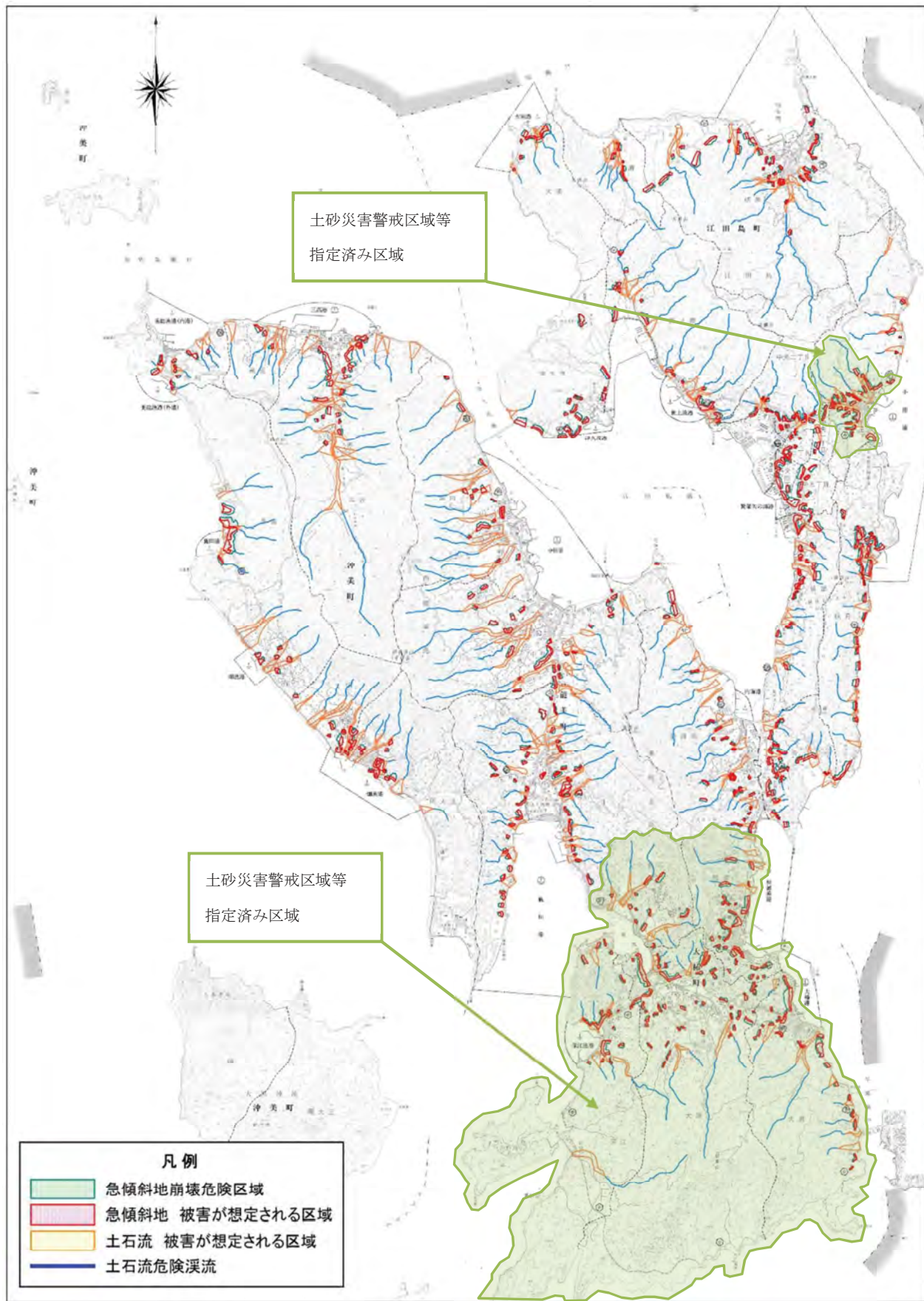
なお、広島県では、土砂災害防止法に基づき、がけ崩れや土石流のおそれのある区域（土砂災害警戒区域等）の指定を推進しています。江田島市については、平成27年度から平成30年度までの4年間で基礎調査を実施し、順次土砂災害警戒区域等の指定を行う予定とされています。

これまでに、大柿町と江田島町の一部で、がけ崩れや土石流のおそれのある区域（土砂災害警戒区域等）が指定されています。

表 2.6 土砂災害警戒区域等の指定状況（平成28年度末時点）

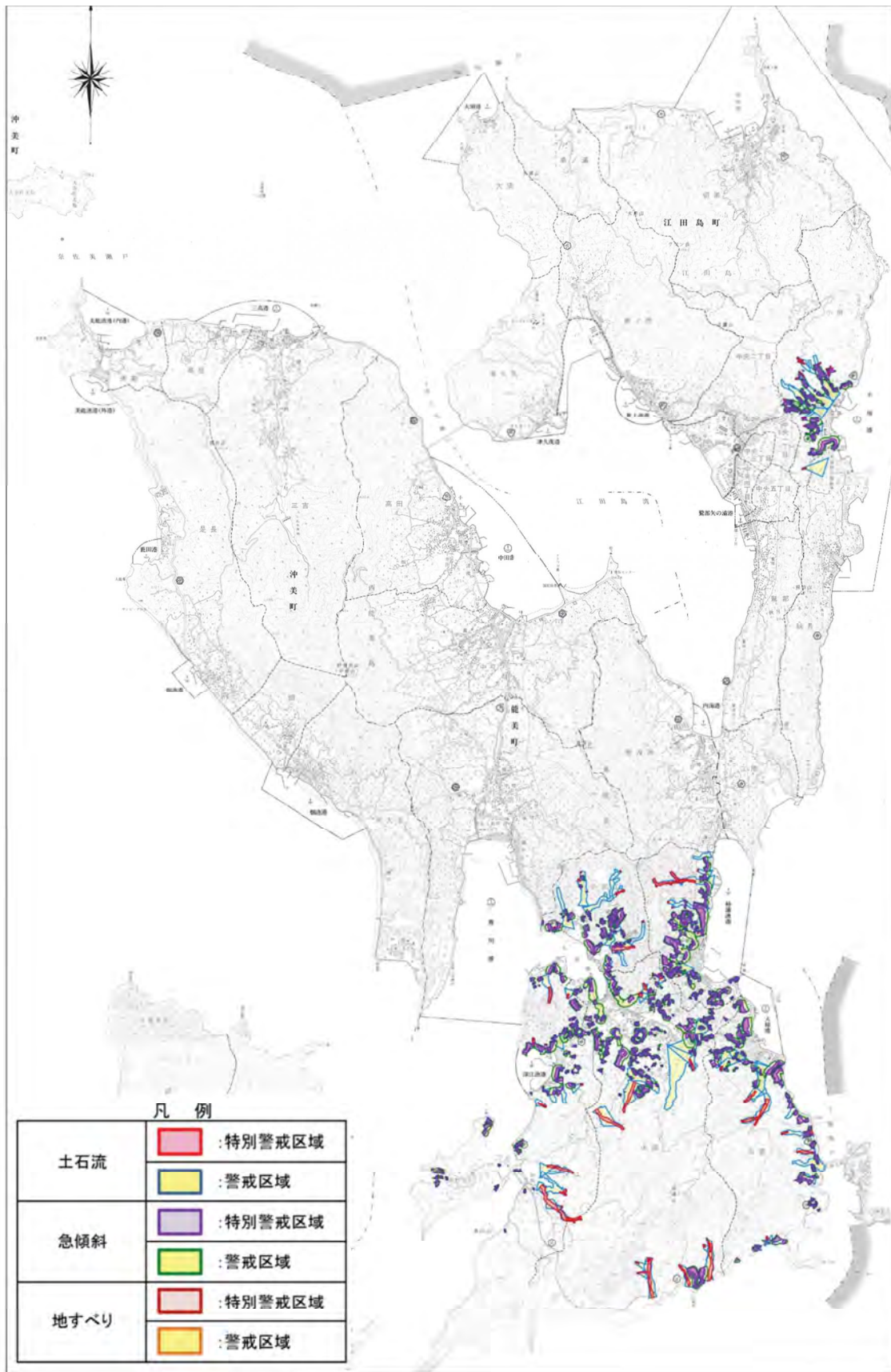
小学校区	自然現象	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
柿浦	急傾斜	16	16
	土石流	10	10
大古	急傾斜	95	95
	土石流	69	65
江田島	急傾斜	48	44
	土石流	16	13
計	急傾斜	159	155
	土石流	95	88
合計		254	243

図 2.7 江田島市の土砂災害危険箇所



出典：広島県砂防課「土砂災害警戒危険箇所」, 『土砂災害ポータルひろしま』

図 2.8 江田島市の土砂災害警戒区域・特別警戒区域（平成28年度末時点）



出典：広島県砂防課「土砂災害警戒区域・特別警戒区域図」，『土砂災害ポータルひろしま』



#### (4) 港湾の現状と課題

##### ア 現状

江田島市土木建築部が所管する港湾施設は、次のとおりです。

表 2.7 施設数量（平成28年度末時点）

施設名	数量	単位	備考
港湾	6	港	

##### イ 課題

港湾施設にかかる課題として、次のようなことがあります。

- ・江田島市の港湾の船舶乗降人員は年間 200 万人を越え、通勤・通学、買い物などの公共交通手段として、広島市、呉市へフェリーや高速艇等で結ばれていますが、広域交流を支える上で、港湾施設の老朽化が課題となっています。
- ・観光面で重要な役割を担っている港湾などでの活性化が課題であり、地域交流や憩いの場として活用する「みなとオアシスえたじま」の活性化が求められています。
- ・広島湾内とクルージングやせとうちサイクルーズ PASS など、クルージングツアーが数多く存在しますが、これらを活かせていないことが課題となっています。

#### (5) 漁港の現状と課題

##### ア 現状

江田島市土木建築部が所管する漁港施設は、次のとおりです。

表 2.8 施設数量（平成28年度末時点）

施設名	数量	単位	備考
漁港	5	港	

##### イ 課題

漁港施設にかかる課題として、次のようなことがあります。

- ・漁業活動を支える漁港施設の多くが高度経済成長期に建設されており、老朽化の進展が懸念されています。

#### (6) 海岸の現状と課題

##### ア 現状

江田島市土木建築部が所管する海岸は、次のとおりです。

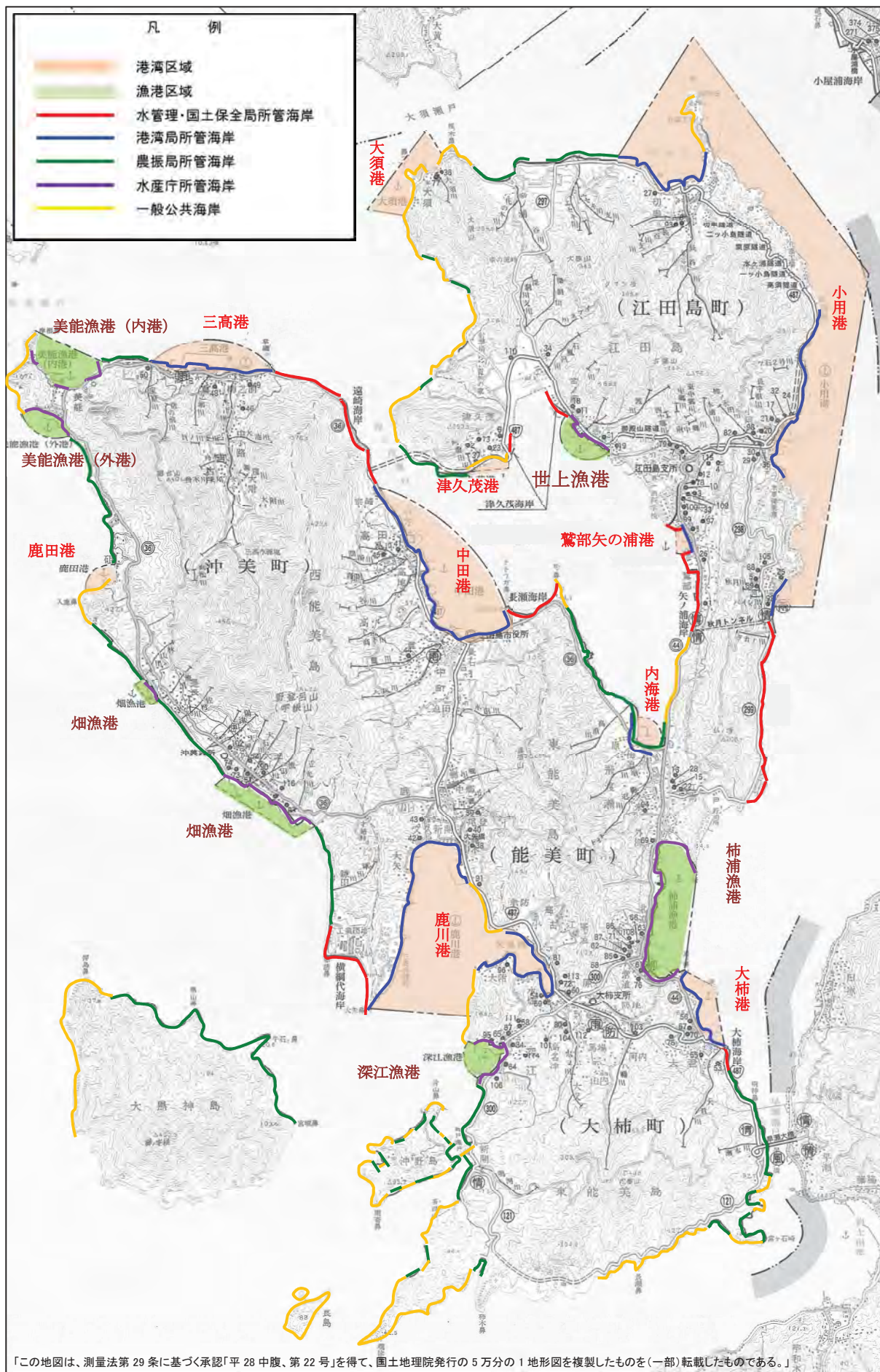
表 2.9 施設数量（平成28年度末時点）

施設名	数量	単位	備考
港湾海岸	7.0	km	
漁港海岸	12.1	km	
防潮扉（港湾）	70	基	
防潮扉（漁港）	70	基	

##### イ 課題

- ・港湾施設の多くが高度経済成長期に建設されており、老朽化の進展が懸念されています。

図 2.9 江田島市の港湾・漁港・海岸



## (7) 公園の現状と課題

### ア 現状

江田島市土木建築部が所管する公園は、次のとおりです。

表 2.10 施設数量（平成28年度末時点）

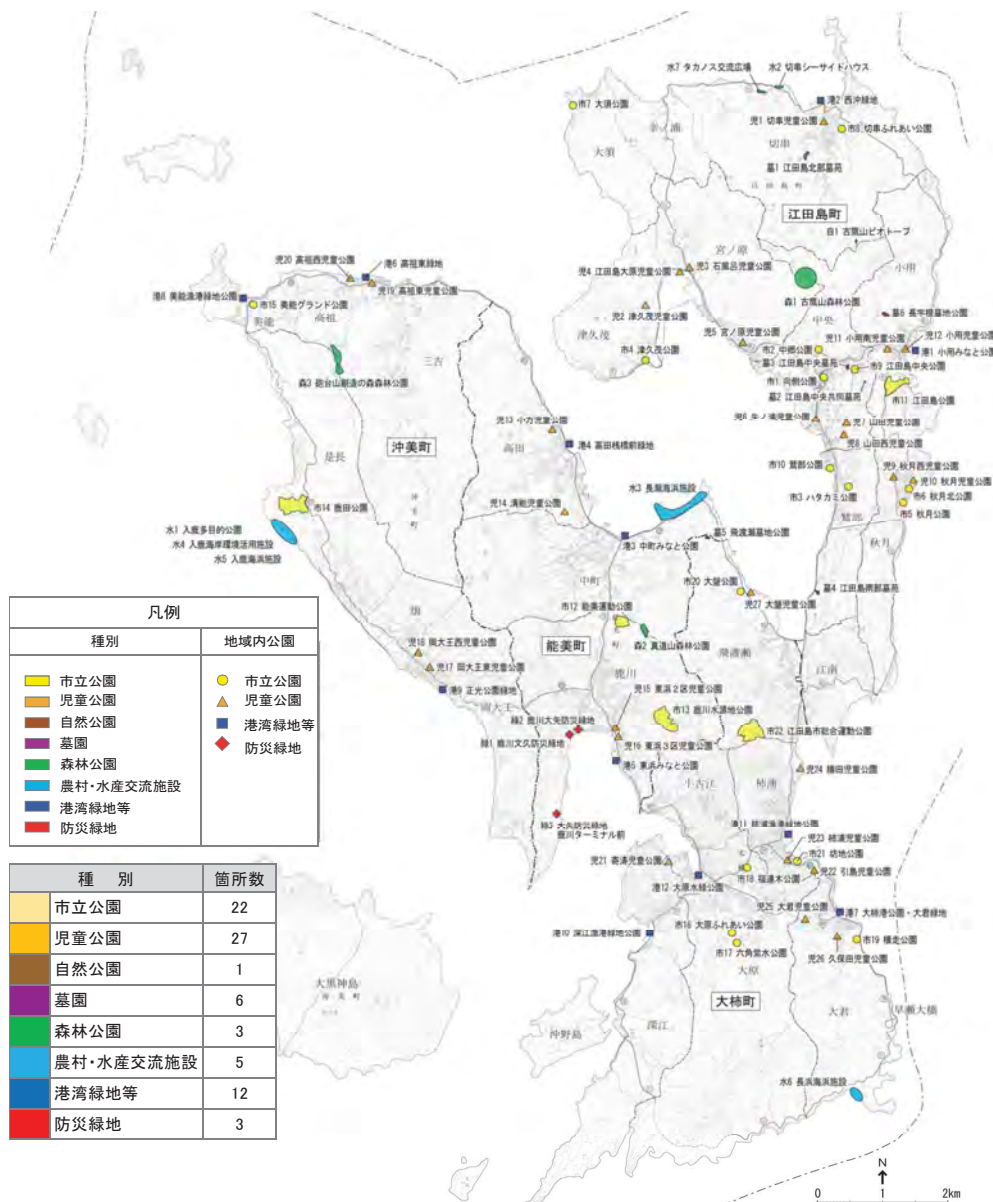
施設名	数量	単位	備考
公園	62	箇所	

### イ 課題

公園にかかる課題として、次のようなことがあります。

- 人口減少や少子高齢化の進展に伴い公園等を取り巻く環境は大きく変化しており、利用の促進やニーズへの対応、再編整備といった課題があります。

図 2.10 江田島市の公園



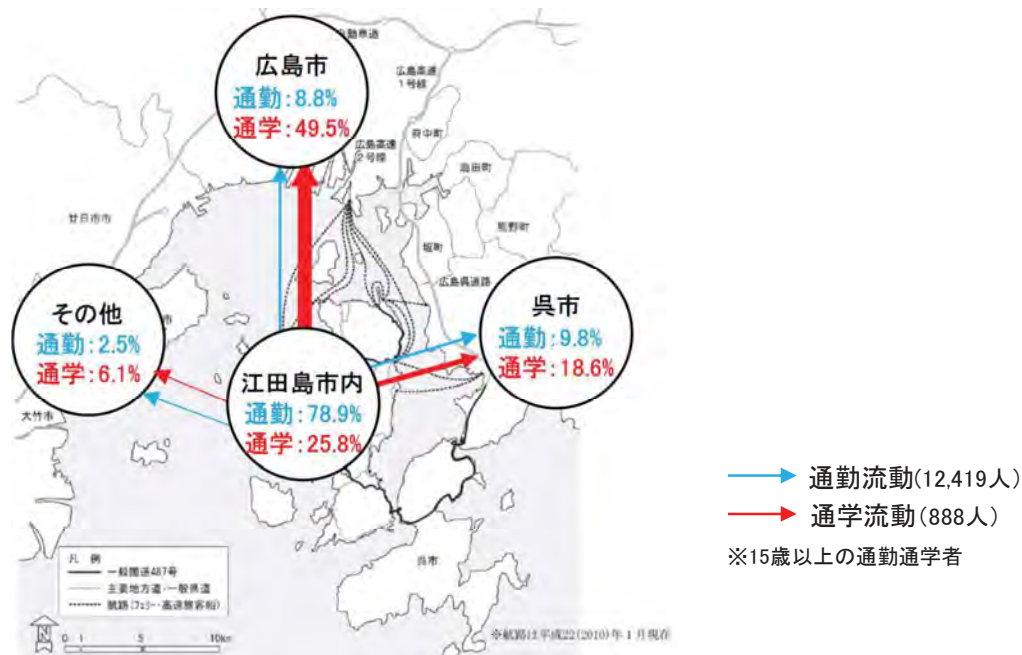
## (8) 交通網と通勤・通学者の現状

他市町への通勤・通学が多い江田島市

- ・江田島市から他市町への通勤・通学割合が多く、海上交通や陸路を含めた広域ネットワークの利便性向上が課題となっています。

(通勤者では広島市 8.8%，呉市 9.8%。通学者では，広島市 49.5%，呉市 18.6%)

図 2.11 江田島市在住者の従業地・通学地 (15 歳以上)



出典：江田島市統計書 (H22 国勢調査)

表 2.11 江田島市在住者の従業地・通学地別人数

常住地による 従業・通学市町	総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者	15歳未満 通学者 (参考)
総数	13,307 (100%)	12,419 (100%)	888 (100%)	2,335 (100%)
自市町村内	10,026 (75.3)	9,797 (78.9)	229 (25.8)	1,637 (70.1)
他市町村	3,276 (24.6)	2,617 (21.1)	659 (74.2)	698 (29.9)
広島市	1,529 (11.5)	1,089 (8.8)	440 (49.5)	460 (19.7)
呉市	1,380 (10.4)	1,215 (9.8)	165 (18.6)	169 (7.2)
その他	41 (0.2)	31 (0.2)	10 (1.1)	10 (0.4)
	13 (0.1)	13 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
	41 (0.3)	41 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
	32 (0.2)	21 (0.2)	11 (1.2)	11 (0.5)
	34 (0.2)	31 (0.2)	3 (0.3)	3 (0.1)
	23 (0.2)	22 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.0)
	26 (0.1)	15 (0.1)	11 (1.2)	11 (0.5)
157 (1.2)	139 (1.1)	18 (2.0)	33 (1.4)	

※ ( ) 内は総数に対する割合(%)

出典：江田島市統計書 (H22 国勢調査)

※総数に「不詳」を含む。

## (9) インフラ整備に関する市民の声

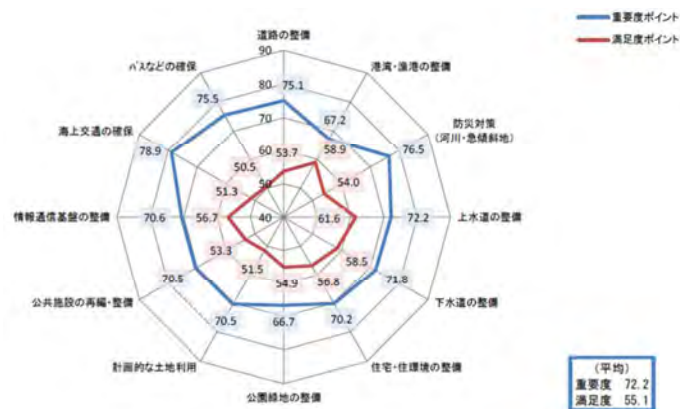
江田島市では、まちづくり市民満足度調査を実施しています。

### ア 重要度と満足度

平成 28 年度市民満足度調査における、今後の取組における重要度と、現在の状況に対する満足度について、基盤部門の項目別にみると、「海上交通の確保」と「バスなどの確保」の重要度ポイントが高いにもかかわらず、満足度ポイントが最低値から 1 位・2 位と低い状況にあり、「道路の整備」も含めた交通系で乖離が大きくなっています。

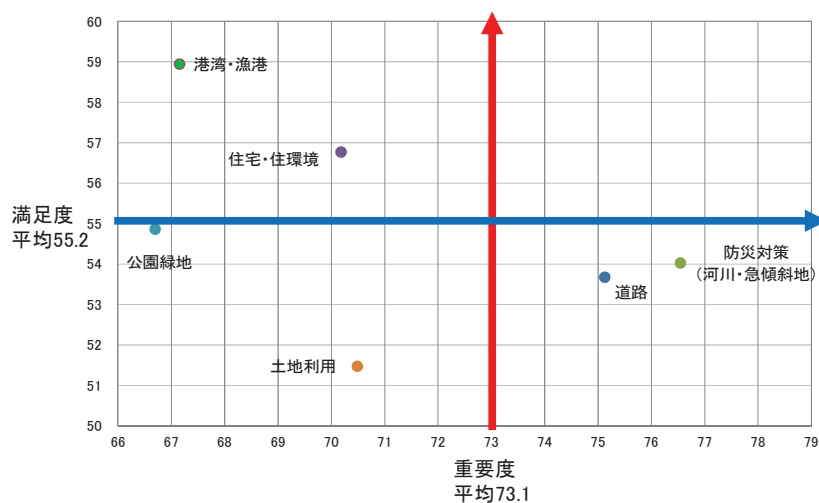
一方、「港湾・漁港の整備」は重要度ポイントが低く、満足度ポイントとの乖離も小さくなっています。

図 2.12 基盤部門のポイント状況



道路や防災対策（河川・急傾斜地）は、平均よりも重要度が高く満足度が低くなっており、港湾・漁港や住宅・住環境は、重要度はさほど高くはないが、満足度が高くなっています。

図 2.13 基盤部門の重要度・満足度の散布図



## イ 自由意見

平成 26～28 年度に実施された「江田島市市民満足度調査」の自由意見について、インフラ整備の4つの方策に関連する主な意見を下表に示します。

方策	江田島市のインフラ整備について		
	H26 調査	H27 調査	H28 調査
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガードレールを付けてほしい。また、横断歩道にはせめて点滅信号くらい付けてほしい。</li> <li>・子どもの通学路となる道の<b>歩道の確保</b>をお願いします。歩道の無い道が多すぎて、安心して歩いて通わせられません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>道路の整備</b>が必要。コンクリートの下の石がデコボコ出ており、年寄りが躓いて転びそうな所があるが、もう何年も同じ状態が続いている。</li> <li>・<b>道路脇の草木</b>が茂り、危険な箇所があります。</li> <li>・道路が狭く、歩行者と車の通行において、危険な場面が発生しやすいため、<b>道路の改善</b>をすすめてほしい。</li> <li>・カーブが多いので<b>カーブミラー</b>の整備・点検。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大須・差須浜～青少年交流の家までの道幅が狭く、崖の石が崩れる所もあります。危険なので早急に<b>道路整備</b>をお願いします。</li> <li>・もう少し<b>道路が広く</b>なり、車、自転車、歩行者がゆっくり安心して通行できたらと思います。</li> <li>・市道の側面の木々が大きくなり、<b>道路通行の妨げ</b>となっている箇所が多々ある。</li> </ul>
地域生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>道路の整備（外灯等）</b>等で不満な点があります。是非とも改善の方をよろしく願いいたします。</li> <li>・<b>農道、水路、道路の改良</b>。特に農道は、車の入れないところの改良をよろしくお願いします。</li> <li>・歩道が狭く、水がかかるのを覚悟して歩かないといけないため、<b>広い歩道を整備</b>してほしい。</li> <li>・<b>公園に遊具が少ない</b>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>道路、河川の整備</b>をもっと積極的に改良、改善してほしい。新しい道路の整備や河川の改良、旧道路を点検して、安全に通行出来るように道路整備を願います。</li> <li>・子どものためにも<b>遊具のある公園</b>を作って欲しい。</li> <li>・中町港にコンビニがあったらいいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ整備（特に、<b>下水道、公共交通機関</b>（都市とのアクセス）、病院、商業施設）。</li> <li>・かなり道が狭いため、不便が多いです。普通車が通れる<b>大きい道</b>の整備を急いでほしい。</li> <li>・多額の借入金を、<b>老朽化した施設への対応</b>に役立てて取り組んでほしい。</li> <li>・<b>子供が遊べるような公園</b>が無い。</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングロードを推進するにあたり、道路の幅が狭く、お互いに危険です。<b>道路の幅を広くする</b>などの対策が必要と考えます。</li> <li>・<b>サイクリングロードの整備</b>はどうですか。</li> <li>・観光で市外から来る人が立ち寄れる場所をつくるべき。<b>道の駅</b>を作った方が良く思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>海の駅</b>を新設してほしい。</li> <li>・江田島の<b>道の駅</b>などがあれば江田島市以外からも人が来るのではないのでしょうか。</li> <li>・<b>農道・自転車道・登山道・桜並木の維持管理</b>。</li> <li>・<b>サイクリングロードの整備</b>。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島外よりサイクリングに来ている方も多く、それがPRにつながれば良いと思います。<b>サイクリングロード</b>を検討してほしいです。</li> <li>・<b>サイクリングロード</b>を無理やり作るのではなく、整備をきちんとしてほしい。</li> <li>・誰も利用しない林道ではなく、<b>主要道を整備</b>してほしい。</li> <li>・<b>道の駅</b>を作ってほしい。</li> </ul>
広域交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋もしくは<b>海底トンネルを開通</b>させて、広島市で働く人のベッドタウンになれば良いと思います。</li> <li>・遠くからでも休日に遊びに来たくなるような<b>公園等の整備</b>（遊具のある公園、サッカー場等）。</li> <li>・海の玄関としての<b>三高港</b>をもっと整備してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>海底トンネル</b>で江田島市と広島市を結び、先人の国道昇格の意義を具現化することが大切。江田島市の発展はこれが根本であり、橋の時代ではすでにない。</li> <li>・<b>小用から呉に橋</b>をかければとても魅力的だと思うし、人が集まる。</li> <li>・<b>公園に大型遊具</b>（大人もある程度楽しめる）がほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事業である<b>江田島と宇品間の架け橋</b>を何年かかろうと実現させること。</li> <li>・三世代が集客できるような<b>公園遊具設備</b>を整備してほしい。</li> <li>・切串と三高港は江田島市の玄関口。<b>三高港</b>があまりにも“みすばらしい”。</li> </ul>

### 3 インフラ整備方針

インフラの現状と課題や市民の声、満足度等を考慮し、4つの方策にかかる整備方針（主な取組）を設定します。

#### （1）安心・安全な暮らしを支えるインフラ整備

現状と課題	
➤	江田島市通学路安全点検プログラムに基づき、道路改良等を実施しているものの、通学路に幅員狭小区間や歩道未整備区間等が多く存在。
➤	・江田島市の沿岸部には高潮浸水想定区域があり、これらに対応するため市内 18 箇所に排水機場（雨水ポンプ場）等を整備しているが、老朽化の進展が懸念。
➤	・山地が急峻で、急傾斜地や短く狭い河川が多いため、土砂災害危険箇所、警戒区域等が多く存在し、降雨期には土砂崩壊を起こしやすい状況。
市民の声	
➤	車、自転車、歩道をゆっくり安心して通行できる道路整備
➤	子どもの通学路となる道の歩道の確保、ガードレール・カーブミラーの整備



整備方針（主な取組）	
➤	安全で円滑な交通を確保するための交通安全対策
➤	江田島市通学路安全点検プログラム等に基づく安心して通行できる歩行空間の整備と適正な維持管理
➤	安全・安心な生活圏の形成を目指した河川や砂防、海岸の整備と適正な維持管理
➤	防災拠点となる都市公園の整備や緊急物資の円滑な搬送のための道路や港湾の機能強化



## (2) 豊かな地域生活を支えるインフラ整備

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 日常生活に密着した市道については、地形的な条件等から狭隘な道路等が多く存在。</li><li>➤ 市民生活や経済活動を支える道路や港湾・漁港等の基盤施設の多くが高度経済成長期に建設されており、老朽化の進展が懸念。</li><li>➤ 人口減少や少子高齢化の進展に伴い公園等を取り巻く環境は大きく変化しており、利用の促進やニーズへの対応、再編整備といった課題がある。</li></ul>
市民の声
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 老朽化した施設、設備への対応</li><li>➤ 道路、河川の整備をもっと積極的に改良、改善</li><li>➤ 子どもが遊べる遊具のある大きな公園の整備</li></ul>



整備方針（主な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 集落と主要施設等をつなぐ市道や機能的な港湾、漁港等の社会インフラの整備</li><li>➤ 企業の活動や誘致を促進させる道路等の整備</li><li>➤ 津久茂架橋構想の実現に向けた関係機関への働きかけ</li><li>➤ 市民生活や経済活動を支える社会インフラの適正な維持管理</li><li>➤ 地域に住む人が安心して憩い、遊ぶことができる公園等の整備</li></ul>





### (3) 魅力ある観光を支えるインフラ整備

現状と課題	
➤	江田島市では、近年サイクリング客が多く見受けられ、サイクリングロード整備計画に基づき、サイクリングロードを整備中であるが、未整備箇所も多く、サイクリング客の走行環境の改善が課題。
➤	観光面で重要な役割を担っている港湾などでの活性化が課題であり、地域交流や憩いの場として活用する「みなとオアシスえたじま」の活性化や「道の駅」の整備が課題。
➤	ナイトクルージングやせとうちサイクルーズ PASS など、クルージングツアーが数多く存在するが、これらを活かせていない。
市民の声	
➤	広い道路幅のサイクリングロードの整備
➤	海の玄関としての港の整備，道の駅，海の駅の新設



整備方針（主な取組）	
●	地域資源を身近に感じることができる自転車ツーリズム等を促進する道路環境の整備
●	観光地域のネットワーク化とみなとオアシスや道の駅等の観光拠点の整備
●	海と島の魅力を活かしたクルージング等を促進するための受入環境の整備



#### (4) 活発な広域交流を支えるインフラ整備

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 江田島市の港湾の船舶乗降人員は年間 200 万人を越え、通勤・通学、買い物などの公共交通手段として、広島市、呉市へフェリーや高速艇等で結ばれている状況であるが、広域交流を支える港湾の老朽化への対応や新たな都市基盤の実現が課題。</li><li>➤ 島嶼部特有の入りくんだ複雑な地形のため、海岸沿いに幹線道路ネットワークが構築されているが、未改良の区間が多く存在し、広域幹線道路網として速達性、利便性に欠ける。</li><li>➤ 江田島市にある大きな公園は、施設の老朽化が進展するなど公園の魅力が十分に発揮されておらず、新たな役割や魅力の創出が求められている。</li></ul>
市民の声
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 江田島～広島市・呉市をつなぐ橋やトンネルの整備</li><li>➤ たくさんの人が遊びに来ることのできる大きな総合公園の整備</li><li>➤ 海の玄関としての三高港の整備</li></ul>



整備方針（主な取組）
<ul style="list-style-type: none"><li>● 広域交流の基盤となる幹線道路ネットワークや港湾等の交通基盤の整備</li><li>● 広島湾架橋構想の実現に向けた関係機関への働きかけ</li><li>● 港湾や道の駅等の交流拠点が一体となった地域の賑わい拠点づくり</li><li>● 多くの人が集いスポーツや運動、様々な余暇活動等を楽しむことができる公園の整備</li></ul>



## 4 インフラ整備の流れ

インフラ整備計画では、限られた財源を有効に活用するため、事業の効果や緊急性、熟度、市民満足度調査結果等から優先度を評価するなど、選択と集中による整備・改良事業箇所の選定を行います。また、単年度に整備費が偏らないように平準化を図ります。

### (1) 選択と集中に基づく整備

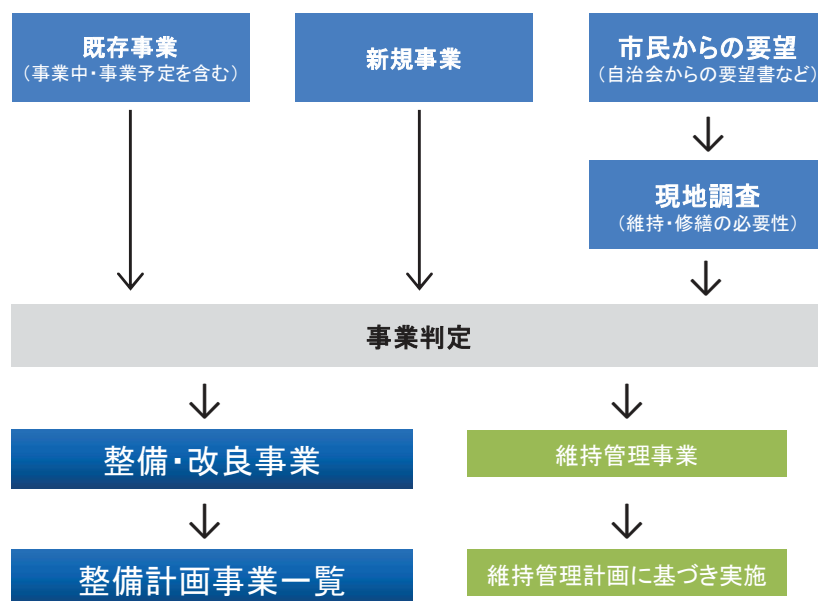
整備・改良事業に対して、事業の効果や緊急性、熟度、実施状況、市民満足度調査結果等により優先度を評価します。

#### ア 各事業一覧の作成

江田島市土木建築部所管施設に係る既存事業、新規事業、市民からの要望など全事業を、整備・改良事業と維持管理事業に仕分けし「整備計画事業一覧」を作成します。

なお、維持管理事業については、別途策定する江田島市インフラ維持管理計画に基づき実施します。

図 4. 1 年次整備計画策定フロー



## イ 事業の評価

整備・改良事業に対して、事業の効果、緊急性、熟度、実施状況、市民満足度調査結果等により優先度を評価します。

表 4.1 優先順位評価指標（案）

評価項目	具体的な評価内容
事業効果	4つの方策に多く貢献する事業を優先する
事業効果の規模	事業の効果の影響範囲が広い事業を優先する
事業の緊急性	早期に実施すべき事業を優先する
事業の熟度	地元からの要望が強く、必要な用地が取得可能など、すぐに取り組める事業を優先する
事業実施状況	実施が確定している事業を優先し、継続事業の場合は完了までの残り年数が少ない事業を優先する
市民満足度調査	市民満足度と重要度の乖離が大きい事業種別を優先する

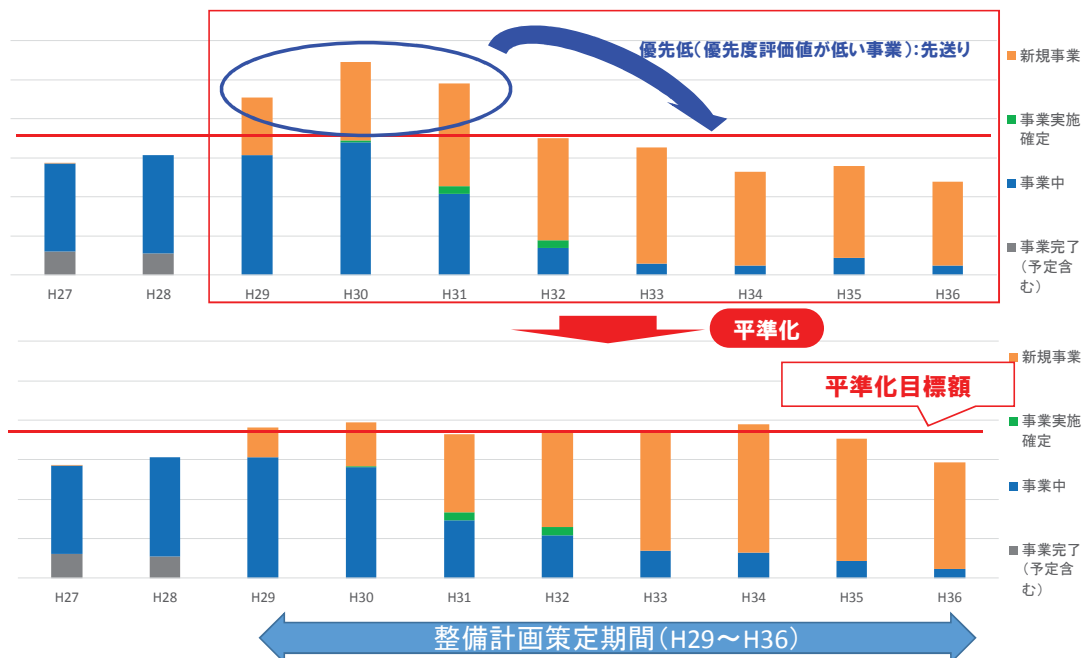
### (2) 整備費の平準化

優先度評価の高い事業は事業開始の前倒し、優先度の低い事業は先送りの検討を行い、整備費の平準化を図ります。

方針①：平準化目標額を上回る新規事業を対象として、着手年度の見直しを行う。（※基本的に事業中や事業実施が確定している事業は見直しを行わない）

方針②：優先度評価値の高い事業について事業開始年度の前倒しを検討。一方で優先度評価値の低い事業については事業開始年度の先送りを検討し、各年の事業費平準化を目指す。（※今回のケースでは先送りケースが主体）

図 4.2 年次別事業費の平準化方針



### (3) 整備事業の実施箇所

優先度評価や平準化を検討した結果、実施することとした主な箇所を以下に示します。

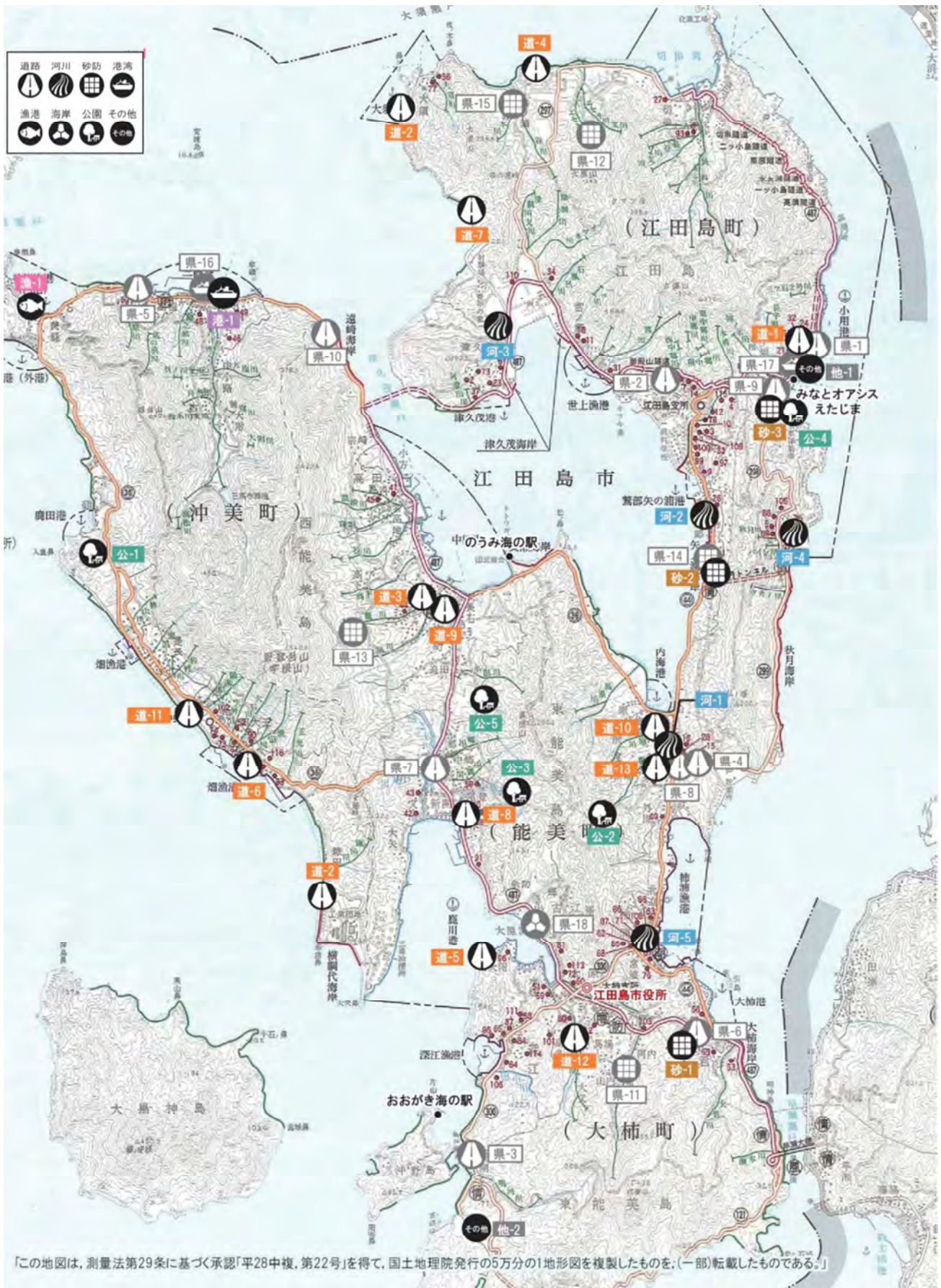
事業箇所は、計画期間内(H29~H36)に実施する整備・改良事業について掲載しています。また、ここで示す実施計画は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

なお、ここに示す事業は江田島市のインフラ整備事業の一部であり、代表的な事業を掲載しています。災害などにより、緊急的な対応が必要となった場合には、この事業一覧以外の箇所であっても柔軟に対応します。

表 4. 2 主な事業一覧

基盤施設	番号	事業名称	事業内容	実施計画						基盤整備の方策				
				前期(H29~H31)			後期(H32~H36)			安	地	景	広	
				着手	継続	完成	着手	継続	完成					
道路	道-1	市道小用1号線道路改良事業	道路拡幅		●					●				
	道-2	サイクリングロード整備事業	舗装修繕・ブルーライン・休憩施設			●						●	●	
	道-3	市道中町27号線道路改良事業	道路拡幅		●					●		●		
	道-4	市道宮ノ原～幸ノ浦線道路改良事業	道路改良			●						●		
	道-5	市道深江12号線ほか水路・道路改良事業	道路拡幅・水路整備		●						●			
	道-6	市道岡大王～是長線サイクリングロード整備事業	道路改良			●						●	●	
	道-7	市道宮ノ原～幸ノ浦線サイクリングロード整備事業	道路拡幅	●	●			●					●	
	道-8	市道鹿川郷～鹿川鎌木線道路改良事業	道路側溝整備		●			●				●		
	道-9	市道中町83・87号線道路改良事業	道路改良・歩道整備	●	●					●		●		
	道-10	市道飛渡瀬30号線道路改良事業	歩道整備	●		●						●		
	道-11	市道岡大王～是長線サイクリングロード整備事業	道路側溝整備		●								●	
	道-12	市道大原72号線道路改良事業	側溝改良・暗渠蓋掛け	●	●					●		●		
	道-13	市道飛渡瀬30号線道路改良事業	道路拡幅					●		●		●		●
河川	河-1	飛渡瀬地区水路改良事業	水路改修			●					●	●		
	河-2	鷲部地区水路改良事業	水路改修			●					●	●		
	河-3	津久茂地区水路改良事業	水路改修	●	●					●		●		
	河-4	秋月地区水路改良事業	水路改修			●						●		
	河-5	柿浦・大君地区水路改良事業	水路改修	●	●			●				●		
砂防	砂-1	平下地区急傾斜地崩壊対策事業	法面工			●						●		
	砂-2	先垣内地区急傾斜地崩壊対策事業(H28災害)	法面工	●		●						●		
	砂-3	中小用2号地区急傾斜地崩壊対策事業(H28災害)	法面工	●		●						●		
港湾	港-1	三高港整備事業	緑地・駐車場整備	●	●					●		●	●	●
漁港	漁-1	美能漁港養殖用斜路補修事業	養殖用斜路補修	●	●					●		●		
公園	公-1	鹿田公園整備事業	更新改修	●		●						●		●
	公-2	江田島市総合運動公園整備事業	更新改修	●	●					●		●		●
	公-3	鹿川水源池公園整備事業	更新改修				●			●		●		●
	公-4	江田島公園整備事業	更新改修				●			●		●		●
	公-5	能美運動公園整備事業	更新改修				●	●				●		●
その他	他-1	小用ウシイシ地区埋立事業	埋立事業			●						●		●
	他-2	建設残土処分場整備事業	残土処分場整備			●						●		

図 4. 3 主な事業位置図



#### (4) 計画のフォローアップ

江田島市インフラ整備計画の4つの方策を着実に実施するため、毎年度、予算要求時にはPDCAサイクルを回し、整備・改良事業を実施します。また、江田島市では市民満足度調査も実施しており、調査結果の分析・評価を行いながら今後の事業展開に反映させていきます。

図 4. 4 江田島市インフラ整備計画におけるPDCAサイクル

